

猿払イトウ保全協議会 第4回総会議事録

- 1 日 時 2012年4月26日(木) 15:00~16:00
- 2 場 所 猿払村役場会議室
- 3 報告事項
第1号 2011年度事業報告及び収支報告の件
① 事務局より2011年度事業と収支決算の報告が資料に基づきなされた。
② 2011年度事業報告及び収支決算報告は承認された。
第2号 2011年度会計監査報告の件
会計監査荒井氏の代理として田中氏から、会計帳簿、預金通帳、領収書を監査の結果、決算報告のとおり相違ない旨の報告があった。
第3号 役員任免の件
会長より、副会長を猿払村巽村長から猿払村三浦高志副村長に交代したい旨の提案があり了承された。
- 4 審議事項
第1号 2012年度事業計画(案)及び予算(案)の件
① 事務局より2012年度事業計画(案)及び予算(案)の説明があった。
② カルバート調査の中間結果をまとめが終わり、関係者に報告された。
③ 引き続き、調査範囲を広げ調査を継続し、カルバート等のカバー率を上げていく。
④ 春の環境教育研修は、帰山理事の協力で北大水産学部にて5名募集した。応募が1名しかなく、残念ながら中止とした。再度、夏に企画するが、北大植物園の富士田准教授が関係研究部門で募集をしていただけるとの提案があり、お願いすることにした。春に応募した学生にも声をかけ、計約5名を募集する。日程は富士田先生と事務局(猿払、東京)で調整。
⑤ 子ども対象自然学校は猿払イトウの会との共催となるが、状況を見て開催する。
⑥ 釣り人対象のシンポジウムを6/30 北海道自治労会館(札幌市)にて協議会主催で開催する。イトウ保護連絡協議会、スポーツフィッシング協会、日本釣振興会等に協力を要請する。メイン講師は、さげます・内水面水産試験場の川村洋司氏に依頼済み。
5. その他
① ・WSCのPete Rand氏によるイトウ・ワークショップ(25th International Congress for Conservation Biology, Auckland, New Zealandでのイベント)の報告
・2013年春に日本学術振興会(JSPS)の外国人招へい研究者として来日するPete Rand博士が猿払川で計画しているイトウ産卵行動調査に関する概要の説明があった。
高分解能水中音響ビデオカメラDIDSONを猿払川下流に設置し、産卵遡上を開始するイトウの映像を記録する。映像から個体群のサイズや遡上のタイミングを調べる。一方、産卵場の位置する河川最上流域の複数地点に定点カメラを設置し、イトウの産卵場分布やそこに到達するまでのタイミングなどを調べる。産卵後に下流に降河するイトウをDIDSONで再び検出できれば、イトウの回遊に関する理解はさらに深まる。研究成果はカルバートの影響評価やその回避のための技術開発に貢献するものと期待できる。
② 次回役員会は10月頃開催する(次年度計画・予算等)。
6. 議事録署名人 小野 理氏、田中 将文氏を議事録署名人に選出した。
の選出(2名)

以上、この議事録が正確であることを証します。

2012年4月27日

議 長

小山内 浩一

議事録署名人

小野 理

議事録署名人

田中 将文